



北海道別海高等学校
PTA会長 竹 中 利 哉

別高祭
「感動した!」
お疲れ様。

この号が発行されるころは、気温も涼しくなっているころかと察します。体育系の部活動は、新人戦の佳境を迎えている頃かなと思つています。その成果が皆さんの目指してきた結果に到達していることを望んでいます。

さて、7月15日・16日の両日行われた第60回別高祭、大変お疲れさまでした。お互いのアイデアを出し合つて仕上げたクラス展示。短い時間でクラスのチームワークを出し切つた。パフォーマンス。コロナ前の状況を知らない中での作品作りは大変だったのではないのでしょうか。天気が危ぶまれた15日。終了まで雨に当たらず、ほっとしました。子供たちに混つて一緒に踊る先生にはいつもと違った顔を見せていた

いただきました。

通常どおり一般開放をすることができた16日。「お休み処」の運営にあたっていただいた研修委員会を中心とした関係者の皆さん、1日の対応ありがとうございました。クラス展示も、パフォーマンスも、多くの地域のみなさんに見ていただくことができ、大変ありがたく思っています。

準備で疲れて帰ってくる子供たちを、家庭でサポートしてくれた保護者のみなさん、そして子供たちの力を最大限發揮できる環境を整えてくれた教職員のみなさんに改めてお礼を申し上げます。

来年度第61回の別高祭は、現在の1・2年生のチームワークの見せどころです。来年度は「地域に住む一人」

としてみなさんの活躍を応援します!

(こぼれ話)

クラス展示に勤しむ我が子。展示のテーマを先に話してくれたらよかったのに、いきなり「公衆電話ボックスに貼ってあったチラシってなつかしい?」うん。いつ



北海道別海高等学校
校長 織 井 恒

前期を振り返って

たい何のことか。当日、展示を観て納得。確かに平成一桁の時代にはススキノ(なぜ特定の地名?)の電話ボックスには「ダイヤルQ2」のチラシが「うるこ」のよう

今年の4月に着任し早くも半年が過ぎようとしております。あつという間の半年でしたが、竹中会長をはじめPTAの役員や会員の皆様から生徒のために様々なご支援ご協力を賜っていることに改めて感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症も現在第9波が叫ばれておりますが、学校閉鎖にするほどのことはなく、コロナ前の学校生活を取り戻しつつあります。

前期を振りかえつてというのですが、この半年間は校長として何ができたか。今後何をすべきか、見極めながら、校内のシステムや職員のマインドの修正を行つ

てきた半年間でした。私は学生のころから30年以上酪農を学んできましたが、牛がいつも教えてくれたのは、現状把握の大切さと仕事の一つ一つを大切に丁寧に行うことでした。酪農の知識ではなく、自分の生き方に活かしてこそ酪農を学んだ意義があると思っております。

生徒たちを指導し、向き合うのは教員ひとりひとりなので、その教員がしっかりと現状を把握し、丁寧な仕事をすることが生徒へのリターンを最大にするというのが私の考えです。多少失敗があっても現状把握した中で丁寧をやった仕事であ

れば、必ず次に活かせるはず。それを繰り返していけば、多少の上下動はあっても長い目でみれば右肩上がりです。最近生徒にも同じ話をしております。他人との比較でなく、自分の現状を把握して、目の前のやるべき事をしっかり考えて、丁寧にやり組んで欲しいという事です。それは、勉強や部活動などの直接的な活動だけではなく、日常生活の些細なことこそ大切に丁寧にしたいと思っております。朝の起床、食事、気持ちの切り替え、挨拶などなど、我々の24時間はすべて連続した細かな行動の連続であり、結果はその細かな行動の積み重ねとして形を変えながら日々現れてきます。多くの人は突然現れる結果を運・不運で解釈しますが、「運も実力のうち」という言葉もあるように、幸運と呼ばれるものも日々の細かな行動から作られていると確信しています。このことを教えてくれたのも実は牛たちでした。特殊な資材や管理方法よりも結局、丁寧な観察、搾乳、発情発見、ミキシングなど日々

の丁寧な作業が長い目でみると大失敗の回避と最大の利益をもたらしてくれました。後期も、皆様と一緒に学んでいきたいと思えます。引き続きよろしくお願いいたします。

PTA全道報告

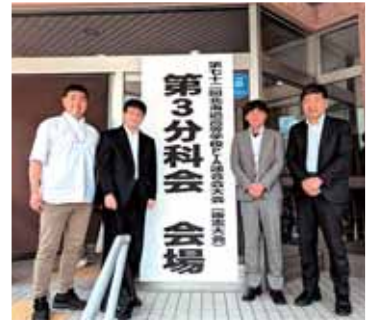
北海道高等学校PTA連合大会に参加して

PTA副会長 牧野 修二

6月9日、10日にかけて、第72回北海道高等学校PTA連合大会後志大会に参加させて頂きました。『新時代を支える若者を共に支えよう』本音の語りから生まれるPTAの活力』を大会主題に掲げられ催されたこの大会は金道各地から約700名のPTA関係者が小樽市へと集まりました。

一日目は、始めに功労団体、功労者表彰並びに感謝状の贈呈が行われ、その後、漫画家の魚戸おさむ氏を講師に、『漫画と絵本で描いた『食』ること、生きること』を演題にご講演をいただきました。

冒頭に、とある大学の学生の日々の食生活のストライ



ドや、朝食の摂取と学力調査のデータなどを参考に食生活を見直すことの重要性、食育の重要性をお話いただきました。又、その中でも、自炊することの重要性にも触れ、2001年にとある小学校で始まった食育実践『弁当の日』の取り組みをご紹介頂きました。別海町の小中学校でも年に5回『弁当の日』がありますが、ここで紹介された『弁当の日』は『子供が作る弁当の日』といつて年に5回小学校5・6年生が自身で献立、買い出し、調理、弁当詰め、片付けまでをしてもらい、子供が自立できる環境を家庭、学校、地域で作っていくことを目的としているようです。

始まって20年以上たった今、『弁当の日』を実践している学校は1900校を超

えているようです。その効果と期待はこれからもなお広がりつつあるようで、食育の大切さを改めて認識させられるような貴重な講演をして頂きました。

2日目は、4つの分科会に分かれての構成となり、私は小樽水産高校にて「学校・家庭（PTA）地域が協働した高校の魅力化発信について」をテーマとした分科会に参加しました。

始めに、倶知安農業高校と地域が協働して実践している日本酒プロジェクトの講話を聴きました、その後10人ほどでグループワークをしながら各学校のPTA活動の情報交換をしました。それぞれ学校の規模や地域環境の違いでPTA活動の内容やそれぞれが抱える課題なども様々で、全道各地



から訪れていたPTA役員の方々との意見交換ができたとても貴重な時間でした。

あつという間に2日間が終わってしまいました。が、自身、酪農家で食品を生産する生産者という立場ですが、改めて食育の大切さを再認識させて頂きました。又、魅力ある高校の未来を考える分科会に参加でき、とても良い経験をさせて頂きました。ありがとうございます。

最後になりますが、今後ともPTA会員の皆様には生徒達の健やかな成長と別海高校の明日のために協力頂きます様宜しくお願いいたします。

学校祭を終えて

百花青逢

生徒会長 松本 由奈

コロナ前のような青春を取り戻し、沢山の笑顔に出逢いたいという思いからつけたこのテーマをもとに多くの時間をかけ準備をした別高祭。

今まで行うことができなかった仮装パレードや展示の一般公開をすることができました。パレードでは悪天候だった中、見に来て手を振ってくださった方が多く、パレードをして本当によかったと思えました。そして、パフォーマン

スで頂いた拍手にとっても感動しました。展示の公開では、新たな試みとして地域の方のご協力により生徒会企画、キッチンカーを実施でき、より一層盛り上がったと感じています。他には生徒会企画クイズや、後夜祭の有志、花火など自分たちだけでは出来なかった事も多くの人の協力で成功したと思います。

コロナ前の学校祭を知らない私たちが一から創り上げる事は難しかったですが二日間すごく楽しかったです。すし、沢山青春できました。最後に、生徒の皆さん、先生方のおかげで良い別高祭にすることができました。ありがとうございます。





伝統を受け継いできた60年
 学校祭実行委員長 高松 由衣

7月15日、16日にわたり、学校祭が行われ、たくさんの方々にご来場いただきました。校長先生をはじめ、先生方、地域の方々、PTAの皆様、ご協力していただきありがとうございます。コロナの影響もあり、実施できていなかった一般公開が今年4年ぶりに行われました。

1日目のパレード、2日目



の校内展示では多くの方々に見ていただくことができたこと、とても嬉しく思います。

今年度の学校祭は昨年度までと違うところが多く、不安な気持ちでいっぱいでした。ですが、その気持ちに負けず先生方の力もお借りしながら来場者の方に楽しんでもらえるような展示、パフォーマンスを一生懸命作り上げました。今年はそのれに加え、キッチンカーの提供もあり、とても賑わいがありました。お忙しい中、ご協力していただいた方々にはとても感謝しています。2日目の後夜祭終了後、火花が打ち上がりました。私たちにとって、60周年という記念で綺麗な火花を見れたことは、今までと違った嬉しさがありました。先輩たちが残してくれたものを



新人賞獲得!
 1年A組 天神 美結

1年生にとって初めての学校祭でわからないことだらけだったけど、先輩からアドバイスをもらったり、各部門のリーダーを中心に役割分担をしっかりとし、効率よく準備を進めることができました。本番では雨が降ったり、ハプニングもありましたがちゃんと対応してパレードも成功させることができました。最終的には新人賞を取ることができてとても良かったです。3年生



受け継ぐことができ、やりきることができたと感じた瞬間でした。今年度はたくさんの方に協力いただき、無事に学校祭を終えることができました。行事を行えることが当たり前だと思わず、感謝の気持ちをもち、これからも過ごしていきたいと思えます。

思い出にあふれた学校祭
 1年B組 溝口 ゆな

新しい友達と作る学校祭はとても楽しかったです。特に楽しかったのが、展示と有志発表です。展示では教室を上手に使いテーマに沿ったものを作り上げていてどれもクオリティが高いものでした。有志発表は、歌やダンスなど様々でとても盛り上がりました。初めての学校祭で各部門が力を合わせて一から作り、意見を出し合うことでクラスの仲



と2年生の展示やパフォーマンス、衣装などを見ていいところがたくさんあったので、来年は今年よりもより良くしていきたいです。



初めての別高祭
 1年D組 青木新太郎

今年は私たちに初めて初めての別高祭で、少しワクワクしながらも初めてのことがたくさんあってとても緊張しました。学校祭実行委員となり、最初はどんな仕事があるのかイメージが全く湧きませんでした。先



がより深まったと思います。



一人一人が初めてのことにチャレンジし、作りあげたパフォーマンスはこれまでにないくらい素敵なものに終われたし、一人一人が成長したと思える学校祭になりました。

学校祭について

2年A組 村山 夕来

輩方が丁寧に教えてくれたおかげで、トラブル等がなく終わることができました。個人的には、有志発表で自分の特技でもあるダンスをみんなの前で披露することができてよかったです。来年は更にクオリティーの高いダンスを披露したいです。

学校祭を終えて

2年B組 門脇 夏

「2年生の学年賞は、2年B組です。」それが発表されると周りから歓声があがりました。

2Bは準備の段階から進みが遅く、私は他のクラスと比べて焦りを感じていました。準備の遅さから、一週間前になってバタバタし始めてうまくいかないことも多かったのですが、計画不足が一番の反省点だったと思います。でも、一週間前に全力を出し始めてギリギリを攻めるのは2Bらしくて楽しかったです。パフォーマンスでは武田先生のおかげもありますが、音響トラブルへの臨機応変さが強みだと思いました。



今回の結果に満足せず、来年は見通しを持ってさらにより良いものをクラス全員で作りに上げていきたいと思っています。

学校祭を振り返って

2年C組 齋藤 龍磨

私たちは「ホラー」を大きなクラスのテーマとして各部門準備を進めました。特に展示では思い切って「お化け屋敷」を作ることにしました。準備には多くの人手やアイデアが必要で大変でしたが、本番は生徒だけでなく、地域の方々も大勢来て下さり、「キヤール」という悲鳴を上げてたくさん楽しんでくれたので良かったです。来年はこれを更に向上させ、良い結果を残したいです。



たいです。

学校祭をおえて

2年D組 佐藤麻由香

百花青逢。今年の学校祭は昨年以上に沢山の人の笑顔の花が咲いた気がします。

コロナの影響で規模が縮小されていた学校祭が今年、コロナ前とほとんど同じ形態で行うことができ、とても嬉しかったことを覚えていきます。全員の意見が反映された学校祭には「ザ・学校祭」といえる一般公開やパレードなどが復活し、新たにキッチンカーが登場するなど充実した2日間になりました。

昨年より少し短い準備期間に戸惑いを感じ、さらに酪農経営科は人数の関係上クラス合同となり、活動がスムーズに行かないこともありましたが、3年生のリーダーシップや2年生のサポート、1年生の協力によりなんとか当日までに全てを完成させることができました。

学校祭1日目のパフォーマンスは、あいにくの雨の中の実施となりましたが、各学年、各クラスが作り上



げたパフォーマンスは、笑いあり、感動ありの素晴らしい作品となりました。

2日目の展示は、それぞれ個性豊かで完成度の高い仕上がり思わず「すごい」と声が出てしまいました。

生徒会企画は、なかなか関わるのではない学年、クラスだったのでも緊張しましたが、生徒会の方や同じグループの方のおかげで楽しんで参加することができました。後夜祭で流れた準備期間や学校祭当日の動画や、華麗で迫力のある花火はとても感動しました。

高校3年間の折り返し地点でこんなに素晴らしい行事にすることができたのは、生徒、先生方のみならず、地域の方々の協力があったからだと強く感じています。

これからも、この伝統ある行事がみんなの百以上の美しい花のような思い出になるように願っています。

学校祭をふりかえって

3年A組 竹村 蓮

私たち3年A組は、三位という悔しい結果でしたが、各自が何かをしようと、クラスのために行動を起こせていました。また、係内の話し合いや全体での話し合いの時には全員が意見を出し、良い話し合いができたと思います。話し合いの時には、意見がぶつかることがありますでしたが、その中で「自分たちで最後は解決できた!!」という経験は、自身の成長に繋がったと思います。今回得たことを、進



路活動や日常生活で役立てていきたいと思えます。

百花青逢

3年B組 山本 旭陽

「いらっしやいませ、キャバ&ホストYOUです。」パフオや展示は完成するのか、全キャスト(クラス全員)が不安になったこともありましたが、素敵な姫とナイスガイが協力し完成させることができ、楽しい学校祭になったのではないのでしょうか。最終的な結果は2位でしたが、準備期間や学校祭を通して、順位以上の、最高の時間を過ごすことができました。しかし、No.1にこだわる女對馬先生をはじめとし、悔しさがないうわけではありませぬ…。次は体育大会、No.1を目指し、



クラスの団結力は強くなる一方です。

学校祭を振り返って

3年C組 杉本萌々菜

私達3年C組は学校祭を全力で楽しみました。1、2年生の頃は何もかもがギリギリの中準備をして自分たちに余裕がなく挑み3年生のすごさに驚くことばかりでした。しかし、自分たちが3年生になり準備を始めると3年目でもあるからか私達には余裕がありました。この余裕は3年目の慣れだけではないと私は感じました。HR長としても、一人のクラスメイトとしても感じたことは、私達それぞれが全力で楽しもう、3年C組として良い思い出に



しようとする志が全員共通のものだったということ。そのためみんなには余裕が表れたのだと思えます。そしてその余裕を余裕だから手を抜くのではなく、余裕があるからさらに上を目指そうと考えることから総合優勝を勝ち取ることができたと思います。最後の学校祭を楽しく過ごすことができて良かったです。

学校祭

3年D組 庄司 敬貴

1、2、3年生合同でやった学校祭は素晴らしいものになりました。年齢や学年を超えて交流し、新しい友達との出会いも楽しめました。一緒に準備することでチームワークや協力の大切さも学びました。

学校祭当日は様々なクラスの見学やパフォーマンスを見ることで、そのクラスの個性を感じることができたとともに面白かったです。

もう3年生になって最後の学校祭も終わったので卒業までの短い時間を大切に、学校祭を通じて築いた思い出を胸に、新たな人生のステップに向かって前進

したいと思えます。



お休み処

7月16日(日)の学校祭の中で4年ぶりにお休み処を開催致しました。

お休み処というものはPTA研修委員がシフトを組み、来校した保護者の皆様にくつろげるような場所を提供するというものです。当日は7名の研修委員が協力して下さり、大盛況でした。こちらで用意したコーヒー、お茶、お菓子などを振る舞い、保護者の皆様にも喜んでいただけたと感じております。コロナ禍では難しかったため、4年ぶりに開催し、保護者の皆様が久しぶりに会って話す場所を提供できたことは研修委員の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

令和5年度高体連・高野連の成績

【男子バレーボール部】

令和5年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会兼
 釧根支部予選会
 予選ブロック 対 釧路明輝高校：○2-1 (14-25, 26-24, 25-18) 決勝リーグ進出
 決勝リーグ 対 釧路明輝高校：○2-0 (25-16, 25-17)
 対 釧路湖陵高校：○2-1 (26-24, 17-25, 26-24)
 対 根室高校：×0-2 (8-25, 22-25)
 準優勝 全道大会出場

令和5年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会兼
 令和5年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会北海道予選会
 予選ブロック 対 遠軽高校：×0-2 (22-25, 23-25)
 対 札幌大谷高校：×0-2 (10-25, 10-25) 予選ブロック敗退

【女子バレーボール部】

令和5年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会
 釧根支部予選会
 1日目 対 釧路北陽高校 0-2 対 武修館高校 2-1
 2日目 対 釧路湖陵高校 1-2 2次トーナメント敗退

【男子バスケットボール部】

令和5年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
 釧根支部予選会
 対 武修館高等学校：31-86 予選敗退

【女子バスケットボール部】

令和5年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
 釧根支部予選会
 初戦敗退 (別海高校 16 対 108 釧路江南高校)

【卓球部】

第76回北海道高等学校卓球選手権大会
 釧根支部予選会(5月22日～、中標津町)
 ・女子団体 ベスト8
 ・女子ダブルス 第3位 3A牧野・1B佐藤組(全道大会出場権獲得)
 ・男子シングルス ベスト16 2B村山
 ・女子シングルス 優勝 1B佐藤(全道大会出場権獲得)
 全道大会
 第76回北海道高等学校卓球選手権大会(6月13日～16日、札幌市)
 ・女子シングルス 2回戦敗退 1B佐藤
 ・女子ダブルス 2回戦敗退 3A牧野・1B佐藤組

【バドミントン部】

第74回北海道高等学校バドミントン選手権大会釧根支部予選会
 女子団体戦：3位(全道大会進出)
 女子ダブルス 小山田(3C)・小湊(3A)ペア：4位(全道大会進出)
 全道大会結果
 女子団体 1回戦敗退
 女子ダブルス 小山田(3C)・小湊(3A)ペア：2回戦敗退

【サッカー部】

第76回北海道高等学校サッカー選手権大会釧根支部予選会 兼
 全国高等学校総合体育大会サッカー競技釧根支部予選会
 1回戦 対 釧路明輝 2対4 負け

【野球部】

第105回全国高等学校野球選手権記念大会北海道大会釧根支部予選大会
 準決勝 対 標茶 相手選手負傷により没収試合 勝ち
 決勝 対 釧路工業 3-6 負け

【陸上競技部】

第76回釧根支部高等学校陸上競技大会兼
 第76回北海道高等学校陸上選手権大会釧根支部大会予選会
 男子5000m 2位 17分22秒89 3B 佐々木晴也
 男子八種競技 2位 3391点 3B 佐藤優力
 第76回北海道高等学校陸上競技選手権大会兼
 秩父宮陽杯第76回全国高等学校陸上競技選手権大会北海道予選会
 男子5000m 出場 17分04秒99 3B 佐々木晴也
 男子八種競技 出場 3200点 3B 佐藤優力

【ソフトテニス部】

第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会釧根支部予選会
 女子個人戦：溝口・入江 1回戦敗退
 男子個人戦：荒井・伊井 1回戦敗退
 青木・松本 ベスト8(全道大会進出)
 男子団体戦：予選ブロック2位、決勝トーナメント進出、
 対釧路湖陵 0-2 敗退

高体連全道
 令和5年度 第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会兼
 第73回全国高等学校ソフトテニス選手権大会北海道予選会
 男子個人戦：青木・松本 1回戦敗退

【空手道部】

第48回北海道高等学校空手道選手権大会釧根支部予選大会
 女子個人形
 2B 干場悠生(準優勝)、3D 横山陽向(第3位)、
 2C 尾澤花奏(予選敗退)、2B 門脇夏(予選敗退)
 男子個人形
 1B 藤野元貴(第3位)
 女子個人組手
 3D 横山陽向(準優勝)、2C 上林亜葵(第3位)、
 2B 干場悠生(第3位)、2B 門脇夏(2回戦敗退)
 男子個人組手
 1B 藤野元貴(第5位)、2D 中町周輔(初戦敗退)
 女子団体形 準優勝
 女子団体組手 優勝
 第48回北海道高等学校空手道選手権大会兼
 第50回全国高等学校空手道選手権大会北海道予選会
 女子団体形：第5位
 女子団体組手：初戦敗退
 女子個人形：2B 干場悠生(予選敗退)
 女子個人組手：3D 横山陽向(初戦敗退)
 男子個人組手：1B 藤野元貴(初戦敗退)

部活動

バレー観戦記

山本 真里

息子の旭陽は高校生になっ
 てからバレーボールを始め
 ました。全くの初心者で、い
 つも動画を見たり、トレーニ
 ングをしたり、それでも上達
 しないことにヤキモキして
 いました。3年生の春季大
 会、「マリさんー高体連のシー
 ド権取ってきたわー」「えっ?
 なんの事?そんな大事な大
 会なら応援に行けば良かった
 わ!」そして高体連釧根
 大会。みんなどこか負傷し
 ている中、粘り強く、素晴ら
 しいチームワークで勝ち進
 んで行く彼らがかっこよ過
 ぎて大声を張り上げて応援
 してしまいました!根室高
 校には勝てませんでしたが
 準優勝で、別海高校男子バレー
 ボール部初の全道高体連を
 手にしました!それまで個
 人的に色々あったので、私も
 旭陽も人目を気にせず会場
 で号泣してしまいました!
 みんな本当ありがとうございます!
 6月、根室高校と共に岩見沢
 市で開催された全道高体連
 へ出場してきました!もち
 ろん私も応援に行きました!



やはり、周りは見た目から
 しての強豪校ばかり。。。見て
 いるこちらドキドキでし
 た!予選リーグ初戦は遠軽
 高校との試合、そんなにレベ
 ルの差は感じませんでした
 が、1セット目22対25、2セッ
 ト目23対25で惜しくも敗退
 2戦目は、札幌大谷高校。
 部員数は別海高校の2倍以
 上、コートに入ってくるだけ
 でも太鼓を鳴らしたり、大き
 な声で景気よく、まるでお祭
 りの様な登場に試合前から
 圧倒されました!やはり強
 い!1セット目2セット目
 どちらも10対25で惨敗!決
 勝トーナメントには残れま
 せんでした。でも3年間頑張っ
 てきた彼らにとってもとても
 良い経験になったと思いま
 す。熱い試合の様子は文章
 ではとても書き表せません、

ぜひ皆さんInstagramをフォローして動画で観てあげてください！さて、我が息子はとうとう大会前の遠征で捻挫をしてしまい、整骨院へ何度も通いましたが高体連には間にいっていませんでした。最後にピンチサーバーとしてコートに立てたのにサーブを外してしまい、残念な結果でしたがアサヒは笑顔で3年間のバレーボール部を終えました。みんなごめんね!! 最高の仲間と、支えてくれたマネージャー、そして顧問の先生との出会い、3年間熱く打ち込めたことが最高の宝物だと思います！応援出来て楽しかったです！皆さんありがとうございます。

農家委託実習

農家委託実習に行き

3年D組 庄司 敬貴

委託実習を通じて、青木さんと共に暮らしながらコミュニケーション能力と根気強さを身につけ、農業の大切さ、そして酪農を未来に繋ぐ事の重要性を再認識することが出来ました。

実習が始まる前、青木さ

んの牧場での仕事に対する期待と不安が入り混じった気持ちでした。牧場の息子として、牛舎の作業には慣れていきましたが、青木さんの牧場は全く新しい環境でした。家から離れた5日間の生活に不安を抱えつつも、青木さんの経験豊富な指導の下で学ぶことができるワクワク感と未知のことへの挑戦心も湧いていました。実際に牧場での仕事が始まると、青木さんが実践している搾乳作業のやり方に戸惑いを感じることもありましたが、牧場の家での経験とは異なる放牧や作業方法に混乱し、思った通りの作業がうまくいかず、大変な時もありました。しかし、青木さんは細部にまで気を配り、牛たちの健康を第一に考える姿勢に感銘を受けました。

青木さんの指導の下で、従来のやり方に固執せず、新しいことを柔軟に学ぶ姿勢の大切さを学びました。

実習が進むにつれて、青木さんの仕事に対する情熱と農業への愛情に共感し、自分自身の将来に対する考え方も変わっていききました。

委託実習は決して楽なものではありませんでしたが、



青木さんの温かい励ましと厳しい指導が私の成長につながりました。農業の未来に対する責任を感じる一方で、自らも青木さんのような熱心な農業従事者になるために頑張っていきたいと思います。

青木さんの牧場での経験は、私の人生において大きな転機となりました。これからも青木さんのように情熱を持ち、農業の未来に貢献することを目指して努力していきます。

委託実習を終えた後も、青木さんとの出会いや、この5日間の経験は私の心に深く刻まれることでしょう。今後の人生で得た知識や成長を活かし、農業への情熱を忘れずに一歩ずつ前進していきたいと思えます。青木さんへの感謝を胸に、自分の夢をこれからも追いかけて行きます。

技術競技大会

農業鑑定競技会(分野:畜産)

優秀賞 1年 佐々木優羽

(上春別中出身)

家畜審査競技会(肉牛の部)

優秀賞 2年 梶原 悠成

(中央中出身)

2年 山口 峻平

(中春別中出身)

1年D組 佐々木優羽

初めての大会で凄く緊張しましたが、入賞することができて嬉しかったです。全国大会では、できるだけ上を目指して頑張りたいです。

農業鑑定競技で優秀賞に輝いた佐々木さんは、10月に熊本県で行われる全国大会へ出場します。

PTA研修

PTA研修会に参加して

飯島 智香

7月25日、本校にてPTA研修会の一環で調理実習ワークショップが行われ、スパイスカレー作りでPTA会長と役員4名、その他保護者の方、先生方が参加されました。講師には、本



校の織井校長先生をお招きし、最初にカレーやスパイスのお話や調理方法についてとてもわかりやすく説明頂きました。調理は2人1組で行い、最初のスパイスを油で加熱する工程はとても良い香りが調理室いっぱいになり、次はカレー作りの1番肝な玉ねぎを炒める工程で、参加者の皆さんは必死にフライパンから目を離さず色を目指し炒めていました。ワークショップを行うにあたり、先生方の下準備や進行がとてもスムーズに行われた為、カレーはあっという間に出来上がりました。各テーブルの方の味見をさせて頂くと、材料も手順も同じなのに、それぞれ味が全然違う事に驚きました。また、スパイスは専門店より取り寄せとの事で普段の

物とは違い、とても香りが良いものでしたし、お米も本格的な細いパラパラしたバスマティライスをご用意頂き、校長先生がインド人に教わられた本格インドカレーを体験することができました。暑い日ではありませんでしたが、参加者の皆さんは、先生方との親睦も深め楽しく料理が行われ、校長先生やお手伝いされた先生方、楽しい美味しい研修会を開催して頂き、ありがとうございました。

食の重要性

北海道別海高等学校
校長 織井 恒

最近どの職場でもよく見られる光景ですが、お昼ご飯を甘い菓子パンやカップ麺で済ませている人がいます。私は、自分が食いしん坊なこと、子供の時から母がなんでも手作りしてくれたこと、飲食店で働いていたこと、家畜栄養学が専門であることなどから、食事に関しては深く思うところがあります。職員の食事が粗末↓ベストのパフォーマンスが発揮できない↓生徒に最高のサービスを提供

できないと思ひ、今度お昼ご飯にカレー作ってくるからということ、職員に振る舞いました。カレーだともあまり好き嫌いが無いし、インドカレーは余計な油や炭水化物も少なく、スパイスの薬膳効果も期待できます。今でこそインドやネパールのカレー屋さんには全国各地にあります、私が子供ころは、インド料理店はわずかで子供の時のカレーといえは、大手メーカーのルーを溶かすカレーでした。小学生の時にたまたま専門店で見ると、このときは、ほうれん草とチキンの緑色のカレー)を食べて衝撃をうけたのがインドカレーとの出会いでした。当時はネットもなかったもので、どうやって作るのか謎のまま何十年も過ぎてしまいました。大人になってからたまたま汽車の中で出会ったインド人が料理人でインドカレーの基本的な作り方を教えてもらったのが、カレーを研究しだしたきっかけです。最近、日本人の大腸がんが増えています、スパイスをよく使う地域では大腸がんが非常に少ないと聞いたこともあります。日本

人の食生活が乱れているので、お腹いっぱい食べていても実は栄養失調状態という人も少なくないという報告もあります。思えば栄養価の高い高品質な飼料を腹一杯食べる牛は皆いい働きをしてくれましたし、ちよつと微量要素が足りないだけで、パフォーマンスが下がる牛もいました。全道PTA研修会も食育にまつわるお話で、弁当の日」というのをご紹介いただきました。我が国は食糧自給率も低く、肥料も海外に依存しています。本当にこれから高品質な食糧が安定的に供給されるのかという不安もあります。



今回のPTA研修会が我々の食を見直すきっかけになれば幸いです。ご参加いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

進路より

○近年の大学入試改革

グローバル化の進展や少子化など社会が大きく変わっていく中、課題を自ら発見することや答えのない問題に向き合っていくこと、新たな価値を創造することなどが重要になっていきます。そのために、①知識・技能、②思考力、判断力、表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、これらの「学力の3要素」を身につけることが求められています。

この「学力の3要素を多面的・総合的に評価できる」ように大学入試改革が進められています。高校までに身につけた思考力・判断力等の評価をより重視した「大学入学共通テスト(旧センター試験)」が導入されており、現2年生が受験する際には「情報I」が追加されます。また、各大学においても入学志願者の能力・意欲・適性等をより多面的・総合的に評価していくための「総合型選抜(旧AO入試)」や「学校推薦型選抜(旧推薦入試)」が実施されています。国公立大学ではこの「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」による入学

者を3割とすることを目指しており、この制度の募集人員は増加しています。「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」では、「学力の3要素」はもちろんのこと、総合的な探究の時間で実施している探究活動や、本校の「別海防災スクール」や「BSAG」、別海町のジュニアリーダー組織「翼」といった課外活動での取り組みなども重要となってきます。

本校では、新しい大学入試に対応できるよう、教育活動をより一層充実していきたいと考えています。

○3学年の大まかなスケジュール(個別に異なる場合があります)

◆就職

- 7月1日 求人票公開
- 9月5日 推薦開始
- 9月16日 選考・採用内定開始

◆進学(専門学校)

- 6月 AOエントリー開始
- 9月 AO出願開始
- 10月 推薦出願開始

◆進学(大学)

- 9月 総合型選抜出願開始
- 11月 学校推薦型選抜出願開始

- 1月 大学入学共通テスト
- 2・3月 各大学個別試験